

ZENSATO Monthly

全里マンスリー

2023年4月号 VOL.160

2023年4月10日(月)(公財)全国里親会

ご挨拶～令和5年度スタートに寄せて～

公益財団法人全国里親会 会長 河内 美舟
新たな年度がスタートしました。今年度は、さらなる飛躍の年度となることが期待されます。

ご案内のとおり、「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」(令和3年12月21日閣議決定)に基づき、本年4月1日には、「こども家庭庁」が内閣府の外局として設置され、いよいよ、こどもまんなか社会の実現に向けた動きが本格化しようとしています。こども家庭庁においては、こども家庭庁長官の下に、内部部局として企画立案・総合調整部門、成育部門、支援部門を設置、このうち、支援部門において、「社会的養護の充実」を掲げ、その体制を強化する方針が打ち出されています。

また、来月からは、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、5類に移行され、外出等の制限が撤廃されることにより、それぞれの地域における活動の活性化も期待される所です。

公益財団法人全国里親会といたしましても、これまで以上に、皆さまのお取組に寄り添い、全国のこどもの最善の利益が図られるよう全力を尽くしたいと決意を新たにしている所です。

全国里親会事務局には、4月1日から新しく事務局長が着任しております。各都道府県市里親会、会員各位のご支援に微力を尽くしたいと皆さまへのご挨拶をしておりますので、ご一読いただければ幸甚です。

今年度も、各都道府県市里親会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝、またこどもたちのご多幸を心から願い、新年度冒頭のご挨拶とさせていただきます。

◆全国里親会(全里)の活動(3月～4月上旬)◆

こども家庭庁を訪問しました

4月1日にこども家庭庁が正式にスタートしました。これまで社会的養育関係は、主に厚労省が担当していましたが、今後はこども家庭庁に移ります。



全国里親会では4月7日(金)に、こども家庭庁を訪問し、要望書を提出しました。

小倉将信こども政策特命担当
大臣に会長要望書手交

要望書の主な内容は次の5項目です。

●「令和5年度 こどもの社会的養育推進事業要望書」

- 1 こどもの権利の保障と里親の地位の向上
- 2 安心して委託が受けられるための制度設計
- 3 里親リクルート及び里親委託の推進に対する支援
- 4 里子の自立に向けた支援の拡充
- 5 家庭養護推進の公費負担の導入

小倉大臣と懇談➡



里親制度研修会のお知らせ

●第5回全国里親制度研修会 ハイブリッド

5月11日(木)12時～17時 無料

会場 衆議院第2議員会館(東京・千代田区)120名
ZOOM 200名 申込順

●内容

行政説明 講師 こども家庭庁こども支援局長

講演1『新たな時代の社会的養育』横堀昌子氏(青山学院大学教授)

講演2『大切な家庭養育&社会環境』津崎哲郎氏(認定NPO法人児童虐待防止協会理事長・NPO法人子どもセンターぬっく理事)

シンポジウム『里親養育と子どもの権利』

●申込方法 〆切5月5日(金)

各里親会事務局へご案内を送付しています。専用申込用紙を使っていただくか、名前、メールアドレス、所属、役職、住所をお書き添えの上、メールかファックスで下記まで。

全国里親会 info@zensato.or.jp

TEL 03-3404-2024 FAX 03-3404-2034

会長会議&会長研修のお知らせ(ハイブリット)

●令和5年度第1回会長会議&会長研修

日程 5月10日(水)～11日(木)

会場 衆議院第2議員会館(東京・千代田区)

会場 80名予定 ハイブリット開催

参加対象 会長、副会長、役員、事務局

●プログラム

5月10日 12時30分～17時

会議 地区里親会の現状における課題と改善の方策、会長の役割や組織のまとめ方等。

研修 講演「こども家庭庁とこれからの里親」(草間吉夫 新島学園短大准教授・全国里親会評議員)

5月11日 9時20分～11時30分

研修 大臣要望のこれまでの成果と実績について里親登録証の導入のための要望の仕方等

●問合せ・申込方法 全国里親会事務局

ご案内はすでに各里親会事務局へ発送済みです。指定の申込用紙にてお申込み下さい。〆切5月1日

里親総合保険のお支払いに関するお知らせ

里親総合保険のお支払いに関するお問合せをいくつかいただいています。3月15日締切までに加入手続きがお済みの里親会は、保険料のお支払いは4月以降になっても大丈夫です。

全国里親会事務局体制

2023年4月1日付で西田紫郎が事務局長として着任しました。

寄付・ありがとうございました

3月は、合計16万3000円のご寄付をいただきました。大切に使用させていただきます。

◆行政関係◆

「こども若者★いけんぷらす」こども家庭庁

4月1日に発足したこども家庭庁では、こどもや若者の意見を政策に反映させるため、「こども若者★いけんぷらす」という取り組みを行っています。「ぷらすメンバー」に登録すると、こども政策について意見を伝えることができます。

●ぷらすメンバー募集

登録方法はこども家庭庁のホームページで。対象は小学1年生からおおむね20代の方。常時募集中。
<https://www.cfa.go.jp/policies/iken-plus/>

こども基本法パンフレット

2023年4月1日、こども基本法が施行されました。法律の概要についてのパンフレットが、こども家庭庁のHPにあります。どうぞご覧ください。

●こども家庭庁

<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-kihon/>

◆奨学金◆

ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金

認定NPO法人キッズドア基金からのお知らせです。

●ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金

入学前の費用に特化した給付型奨学金(返済不要)です。高校3年生、浪人生(一浪まで)対象で里親家庭も応募可能です(ただし親族養育の場合は対象外)。募集人員600名。

・給付内容 受験応援金5万円(7月上旬予定)、入学準備金10万円(12月または2024年3月予定)、※他に伴走支援(受験・奨学金情報、オンラインイベント等)も行います。

・他奨学金との併用可。

・申込条件 ①国内の大学・短大に進学希望の高校3年生または浪人生(一浪まで)の方、②奨学金の用途は進学準備、入学費用のみ(例 受験料、塾・予備校の費用、模試、テキスト参考書、受験関連交通費、入学金、PC等) ③所得に対する条件あり(※社会的養護の方は対象です)

・応募期間 4月3日(金)~5月15日(月)18時

・応募方法 専用webサイトよりエントリー

<https://www.gs-scholarship.com>

<https://bit.ly/3z7ASOG> 応募フォーム

●問合せ

認定NPO法人キッズドア基金(運営)

gs.juken@kidsdoorfund.com

ゴールドマン・サックス・ギブズ(協力)

日本学生支援機構の奨学金(給付型)

日本学生支援機構の奨学金は、毎年4月頃に在学中の高校を通して申し込むことになっています。高校側が給付型を知らない場合もあるので、里親側から担任の先生に情報提供しましょう。

大学等に進学後の方が申し込むこともできます。その際は在学中の大学等にお問い合わせください。詳細は下記ホームページよりご確認ください。

●独立行政法人日本学生支援機構

<https://www.jasso.go.jp/index.html>

児童養護施設等の生徒への受験料等支援(給付型)

日本学生支援機構に、今年度より新たな奨学金が加わりました。受験料など入学前にかかる費用に給付されます。詳細は団体のHP等でご確認ください。

●給付内容 一人20万円。用途は受験料、交通費、宿泊費等を想定。●募集期間(予定)令和5年5月8日(月)~令和6年2月末日(必着)

●申請方法 社会的養護施設の長又は養育者から、申請書類等を日本学生支援機構へ提出する。

●給付時期 6月下旬、審査終了した申し込み分から順次。

●問合せ 独立行政法人 日本学生支援機構(JASSO)

広報課寄附金室(清代・細谷) TEL03-6743-3827

<https://www.jasso.go.jp/about/press/jp2023032901.html>

ENEOS奨学助成のご報告

令和4年度のENEOS奨学助成についてご報告です。

里親家庭からの申請者137名全員の助成(一人10万円)が決定しました。ありがとうございました。

◆その他◆

本のご紹介 改訂版「里親になりませんか」

2020年10月号でご紹介した本書が、このたび改訂版として再発行されました。ご興味ある方はどうぞご覧ください。

こども家庭庁設立やこども基本法成立、児童福祉法改正、ケアリーパー支援についてなど、新たに最新の里親をめぐる動きなどが加筆されています。

●改訂版「里親になりませんかー子どもを救う制度と周辺知識」(日本法令・定価2,200円+税)

著者:吉田菜穂子(福岡県里親会長・全国里親会評議員)